

理事会承認事項

(1) 令和元年度事業報告について

令和元年度の「愛媛DMO」事業では、前年度に引き続き、多様な関係者を巻き込み、オール愛媛での観光・物産の推進による地域の活性化に取り組んだ。

まず、観光部門では、国内・海外からの誘客活動として、着地型旅行商品の造成、旅行会社への営業等を行い、愛媛の魅力や優れた観光素材の情報発信を行った。また、旅行会社のパンフレット作成経費の一部を助成し商品造成・誘客促進に取り組んだほか、WEBサイトによるプロモーションを実施した。

海外向けでは、引き続き国際定期路線の安定運行や新規開設、海外からの誘客拡大に向けて、県と一体となって航空会社や旅行会社を訪問したほか、現地で開催される商談会や誘客セミナーにも積極的に参加してプロモーション活動等を行うことにより、継続して海外の旅行事業者とのネットワークを築き、次年度への展開に繋げている。また、海外旅行会社を招聘し、商品造成に繋げたほか、他団体と連携し、英・仏等のメディア招聘も行った。

さらに、インバウンド関連のセミナーを開催したほか、ナイトタイム紹介のためのパンフレットの作成や、SNSでの情報発信等に取り組んだ。

このほか、えひめ愛顔の観光物産館内にある、JNTO 認定外国人観光案内所（カテゴリー1）では、外国語対応可能な観光案内スタッフを配置し、インバウンド関連客の受入体制充実に努めた。

情報発信としては、愛媛県観光ホームページ「いよ観ネット」及び外国語サイト「Visit Ehime Japan」の運営を行うなど、インターネットやSNS等を活用して、魅力ある観光コンテンツを画像や動画により広く国内外へPRしたほか、県内におけるコンベンションの開催支援等を行った。

物産部門については、物産観光情報拠点である「えひめ愛顔の観光物産館」において、県産品の展示・販売及び県内の観光情報の発信に積極的に取り組んだ。特に、従来休館日であった水曜日を営業日にするとともに年末年始の休館日を短縮することにより、利用客の利便性向上に努め、併せて売上増を図った。また、令和改元記念セールや、台湾便の就航等にあわせたキャンペーンを実施した。

ネットショップ「愛ある愛媛いいよかん」においては、ホームページの充実を行うとともに、新規商品開発を行い、全国に発信することによりニーズの発掘に努めた。

店舗以外でも、県外百貨店における物産展や県内各地で開催された各種大会・イベントに積極的に出店し、県産品の売上拡大を図り、併せてポスター掲出、メディア活用、パンフレットの配布により本県観光情報を発信し、認知度向上に取り組んだ。また、新たな物産展出展が期待できる店舗への訪問交渉や商談会への参加等、営業活動を行った。

愛媛県の協力の下、アンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」では県産品の情報発信やイベントスペースでの対面販売を行い、消費者の愛媛県産品に対する嗜好などの情報収

集に取り組み、首都圏における活動拠点として有効活用に努めた。大阪支部においては、県内各市町の物産展を開催するほか、県人会や近畿周辺のイベントに参加し販売拡大に取り組んだ。

しかしながら、3月初旬頃から新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、予定されていた県外物産展が中止になったことや、店舗の運営にもマイナス影響が始まった。

この結果、協会全体の県産品販売収入は前年度より5.2%減の211,653千円（前年度223,276千円）となった。

今後は、新型コロナウイルスの未曾有の影響から早期回復を目指し、当面は県内観光や近隣地域からの入込み強化を意識するとともに、「3密」を避けた観光として、豊かな自然や開放感のある体験を発信し、県内全域への周遊を促進するなど、将来を見据えた誘客強化に取り組む。

また、活動地域が重なる県内外のDMOとの連携を意識しながら、「世界水準のDMO」を目指して、各種デジタルマーケティング事業のデータも活用した効果的な事業実施に努めるとともに、観光と物産の両面から積極的にアプローチすることにより、地域関係者とともに「地域が儲かる観光」の確立に取り組むこととしている。

観光部門

I 愛媛DMO事業

1 組織運営

地域連携DMOとして平成30年7月31日（DMO候補法人登録は平成29年8月4日）に登録され、活動を実施した。

（1）愛媛DMO推進体制

①DMO推進委員会の開催 2回

②地域別DMO推進チームの開催

地域別推進チーム（東予、中予、八幡浜、宇和島の4チーム）を開催し、地域の主体的な観光地域づくりの取り組みを促進した。

③県内DMOとの連携

連絡調整会議の開催、個別訪問による情報共有等

（2）DMO推進チームによる旅行商品の造成

旅行商品の企画・開発・販売を実施

2 国内営業・誘客活動

旅行会社への営業・誘客活動や旅行企画担当者を招聘したファムトリップ等を展開した。

また、各種観光物産イベントへ参加したほか、県内外からの観光相談に適切に対応する等、様々な機会を通じて本県の観光資源等を広く宣伝した。

（1）主な旅行会社へのセールス、情報収集活動の展開

首都圏、関西圏、中国地域、九州地域など、延べ148社にセールス等を実施。

(2) 旅行博、旅行商談会等への参加

首都圏、関西圏等において15回の旅行博等に参加し、一般来場者へのPR及び旅行会社等との個別面談を実施。

(3) ファムトリップの実施

国内の旅行会社企画担当者を対象に、県内各地をPRするためのファムトリップを実施し、旅行会社には新たな旅行商品造成の企画を依頼するとともに、県内観光・宿泊施設等との商談の場を設定することで、両者との引き合わせにも取り組んだ。

※ファムトリップ=旅行関係事業者を対象に現地視察を体験してもらうツアー

(4) 造成商品の販売、パンフレット助成等

旅行意欲のある人に愛媛に関する観光物産情報を認知してもらい、全国から一層の観光誘客、本県のイメージアップ、観光産業の振興を図ることを目的として、旅行業者が作成するパンフレット等の作成経費の一部を助成した。

・全体申請件数36件に対し、累計5,806千円(34件)を助成

①「募集型企画旅行」支援事業〔団体〕

・催行本数40本／人数1,199名

②「募集型企画旅行(個人型)」支援事業〔個人〕

・2019年度下期商品(6件)5,140人泊、2020年度上期(5件)

③愛媛県観光物産協会造成商品販売促進事業〔個人〕

・2019年度下期商品(5件)41名、2020年度上期(5件)

(5) 四国デスティネーションキャンペーン(四国DC)

2021年秋季開催予定の四国DCに向けて、実施主体である四国ツーリズム創造機構や愛媛県等とともに観光素材の掘り起しや磨き上げ等の準備を開始した。

(6) その他旅行客の誘客活動

①インターネットを活用した個人旅行客向け誘客プロモーション

楽天トラベルと連携した誘客プロモーションにより、6月～7月(8週間)の期間中の予約数は約21万4千人泊で、前年比9,582人増(4.7%増)となった。

②航空会社パンフレットを活用した個人旅行客向け誘客プロモーション

航空会社パンフレットを活用した個人旅行客向けの情報発信を行った結果、ANA スカイホリデーパンフレット内に“いやされて愛媛旅”として4ページにわたり掲載。

③瀬戸内しまなみ海道開通20周年記念イベントにおけるブース出展

④四国老人クラブ大会における観光PR

3 旅行商品企画・受入態勢整備

(1) 旅行商品の企画・開発・販売

地域別DMO推進チームの検討結果を踏まえ、地域素材を盛り込んだ着地型旅行商品(個人旅行)の企画・開発を行い、旅行業者パンフレットへの掲載に向けて営業活動を実施した。(新規造成6商品)

(2) 松山市からの着地型旅行商品の開発・運営管理受託

昨年度に続き、松山市から旅行商品造成事業(松山・道後旅行企画商品)を受託し、新商品の造成・運営管理業務を行った。

【実績】松山市からの受託事業分を含む、DMOが関与した全商品(松山市受託分、推進チーム造成分、外国人向け体験型コンテンツ造成等事業分) 販売実績利用人数6,111人、販売額5,555千円

(3) おもてなし向上に資する研修会

ふるさとふれあい塾を松山商工会議所等と共同開催した。
松山観光コンシェルジュ中級認定133名

4 海外営業・誘客活動

国際定期路線の安定運行や新規開設、海外からの誘客拡大に向けて、航空会社、旅行会社訪問や海外誘客プロモーション活動、海外旅行博への参加等を行った。

(1) 主な国際路線に係る航空会社・旅行会社訪問

〔中国〕中国経済交流ミッション(5月24日(金)～27日(月))

〔台湾〕松山台北線就航記念式典(7月18日(木))

松山台北線就航記念祝賀会(8月8日(木)～10日(土))

エバー航空訪問(12月16日(月))

〔韓国〕チェジュ航空本社等訪問(9月8日(日)～10日(火))

(2) 海外旅行博、観光物産キャンペーンへの出展、旅行商談会等への参加

ITE 香港国際旅行展示会や台湾旅行会社との商談会等、国内外で開催された11回の旅行博等に参加し、一般来場者へPRを行うとともに、旅行会社等との個別面談を実施した。

(3) 海外の旅行会社や海外メディア等の訪問団・視察団等の受入等

①台湾交通部による愛媛県観光視察への対応

②英国メディア「The Telegraph」^{テレグラフ}記者の取材対応

(令和2年1月に記事掲載(The Sunday Telegraph))

③独国日刊紙記者の取材対応

④仏国雑誌「Le Quotidien」^{ル コティディエン}への記事掲載

(仏国の有力業界誌に観光PR記事を出稿、パリの旅行博にて配布。

せとうち観光推進機構との共同事業)

⑤タイ市場向けプロモーション

(タイの地上波テレビ局MCOT TVによる日本紀行番組「Japan Discovery」の県内ロケを実施。令和2年3月 現地で放映)

⑥シンガポールフリーペーパーライターへの招聘

(グリーンツーリズムを取材し、令和2上期に現地フリーペーパーに掲載予定)

⑦香港旅行業者ファミトリップ

(5社・5名を招聘し、県内観光関連事業者30社47名との商談会を実施。新規ツアーが造成され募集開始するも、新型コロナウイルスの影響で催行されず。)

⑧フランスメディアファムトリップ

(令和元年12月に記事掲載 (Grazia. fr))

⑨愛媛国際映画祭に係るプロモーション

(台湾及び香港 (計4名) のインフルエンサーを招聘した結果、同映画祭及び県内観光地情報がSNSで発信され、約153,000人が閲覧)

(4) その他

①香港市場向けプロモーション (Facebook による観光PR)

令和元年11月開始、3月末時点でフォロワー数600人、累計約129,000人が閲覧。

5 外国人観光客受入体制整備

台湾定期便の就航やクルーズ船松山寄港等を踏まえて、訪日外国人観光客の受入体制の整備事業を実施した。

(1) 外国人向け体験型コンテンツ造成・情報発信・販売促進事業

外国人の感覚に訴求する体験プログラム・旅行商品を新規造成 (10商品) し、プロモーションを実施した。

(2) クルーズ船寄港に向けた対応

①ダイヤモンド・プリンセス受入に伴う観光案内所・物販の実施

②瀬戸内海クルーズ推進会議等による営業活動・現地視察対応

県等と共同で、外国船社日本支社への営業活動や現地視察対応を実施

(3) インバウンド (訪日外国人) 観光客受入体制環境整備

①英語研修の実施

愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会との共催で開催 (5回)。

②受入対策セミナーの実施

本県のインバウンドの約8割を占める韓国、中国、台湾、香港からの観光客を迎えるための基本的な「おもてなし」について学ぶ研修会を開催 (参加者78名)

※日本観光振興協会助成事業

(4) ナイトライフマップの作成

夜のコンテンツ (食・ナイトスポット) を紹介する「ナイトライフマップ」 (松山市中心部) を作成。 (日本語、英語、韓国語、中国語繁体字、中国語簡体字)

(5) えひめ愛顔の観光物産館に外国語対応スタッフを配置

毎日10時~17時まで、外国語 (主に英語) 対応スタッフを配置、愛媛の観光情報、お土産などの案内を行った。

(6) インバウンド (訪日外国人) 観光客に向けた情報発信

多言語版観光情報サイト「Visit Ehime Japan」等を活用し、店舗情報や体験型メニューなどの情報発信を行った。愛媛DMOが造成した着地型商品も掲載。

(7) 訪日台湾教育旅行の誘致活動

台湾の学校関係者及び旅行会社関係者を対象とした現地説明会の開催や教育関係者（校長等）の招聘による来訪促進及び修学旅行来県時の受入対応を行った。

①訪日台湾教育旅行誘致事業現地説明会（台湾）

令和元年6月10日（月）～15日（土）

②教育関係者向けファームツアー（台湾訪日教育旅行教育関係者国内招請）

しまなみ地域の民泊施設、農業体験、サイクリング等の紹介

令和元年10月31日（木）～11月1日（金）

③訪日台湾教育旅行の受入対応

新本市立中和高級中学が来県し、松山市内観光を行うとともに、松山東高校との学校交流実施など、計5校 計159名の受入と学校交流を手配。

6 情報発信

(1) インターネット情報発信

「いよ観ネット」のビジュアル面を強化して最新の観光情報を一元的に発信することにより、利便性向上と利用促進を図ったことにより、閲覧数の増加につながった。

令和元年度アクセス件数

・観光ホームページ「いよ観ネット」閲覧 2,260,386件（30年度：1,485,159件）

・多言語版観光ホームページ「Visit Ehime Japan」閲覧 772,635件
（30年度：434,652件）

(2) 観光ポスターの掲出

協会会員及び四国観光立県推進愛媛協議会会員のポスターを首都圏の協力店舗に掲出することにより、本県の観光物産を首都圏にPRした。

(3) 観光情報の収集・提供

県内各地の最新の観光情報や、各市町観光協会等のおすすめ情報を定期的に収集・編集し「最新観光・イベント情報」、「季刊観光情報」として報道機関や一般観光客に提供するとともに、マスメディア等を活用した情報発信を行った。

(4) 愛媛観光情報の映像による発信

えひめ愛顔の観光物産館内で愛媛観光紹介映像を常時放映するなど目に見える観光案内を行ったほか、「いよ観ネット」内のフォトギャラリーに収められている県内観光情報を活用した観光案内に取り組んだ。

(5) 「全国観光情報データベース」への情報の提供

（公社）日本観光振興協会の「全国観光情報データベース」に本県の観光情報を提供し、全国からの情報照会と情報発信に活用した。

(6) 講演等

- ・愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合等総会
「松山空港（愛媛）－桃園国際空港（台湾）就航記念講演」（5月22日）
- ・JATA愛媛地区委員会若手社員セミナー講演
「愛媛DMOの取り組み」（2月28日）

II その他観光事業

1 コンベンション開催支援

愛媛県内でのコンベンションを誘致するため、国際ミーティング・エキスポ等の誘致活動を行うとともに、開催市と連携してコンベンション主催者への助成等を行った。

2 観光物産振興団体連携事業

（公社）日本観光振興協会並びに四国4県及び県内観光関係団体等と連携し、愛媛及び四国のイメージアップと入込客の誘致拡大を図った。

（1）（公社）日本観光振興協会四国支部との連携

四国4県の観光宣伝、観光客誘致を図るため、四国ブロック広域観光振興事業推進協議会（（公社）日本観光振興協会四国支部ほか）が行う事業に参画した。

（2）四国観光協会連合との連携

四国4県の観光協会で構成する同連合と協調し、四国地域内観光交流の活性化等について促進活動を行った。

（3）関係団体実施事業への参画

自治体や関係団体等と連携して愛媛のイメージアップと観光客の誘致促進を図った。

3 観光物産振興事業

令和元年度に後援・協賛申請された18事業に対し、名義後援等を行った。

物産部門

I 普及・販路拡大事業

1 「えひめ愛顔の観光物産館」における紹介宣伝及びあつ旋

松山市ロープウェー街に設置の情報発信拠点「えひめ愛顔の観光物産館」では、施設の機能を十分に活用し、観光誘客の促進に努めるとともに、県産品の紹介宣伝及び販売を行った。

平成31年度（令和元年度）

売上額	135,176千円	前年実績	127,149千円
来館者数	185,144人	前年実績	125,450人

（1）利便性の向上

- 前年度、休館日であった水曜日の営業及び年末年始を臨時営業したことにより観光客の利便性向上が図ることができたため、令和元年度から正式に営業日として運営を行った。加えて、松山城ライトアップ・土曜夜市に合わせ7月に8回、8月に6回営業時間を夜間3時間延長したところ利用客約1,000人（約100万円の売上）に繋がった。
- キャッシュレス決済の多様化に対応した決済端末機を導入し、利便性向上を図った。
- 外国語（英語、中国語、韓国語）対応スタッフを配置し、訪日外国人旅行者の利便性向上に努めた。

（2）物産の紹介宣伝及びあっ旋

- 季節の「旬」コーナー等を展開し、試飲・試食販売を7月～11月（土・日）に20回、延べ10社が出展し、対面販売による動きもあったことで利用者からも好評を得た。

（3）物産の販売促進

- 5/1～5/7の7日間、改元記念キャンペーンを実施し、にぎわいづくりと誘客に努めた。
- 割引サービスクーポン付チラシ（A4版両面）の配布を従来の近隣宿泊施設5か所から12か所に増やし認知度向上に努めた。
- 新商品や話題性の高い商品を集約展示し、来館者にアピールした。
- 四季折々の館内装飾を行い季節感を演出した。
- 台北便（エバー航空）の就航等にあわせた記念キャンペーンを行った。

（4）観光情報の発信

- 県内の主要観光地やイベント情報等をチラシ、パンフレット、動画により宣伝した。
- 「レジャーガイドブックえひめ」や各種旅行・観光情報誌などを活用して、観光物産館の広告宣伝を行った。

2 ネットショップ「愛ある愛媛いいよかん」の運営

- 楽天市場のインターネットショッピングサイトに開設している「愛ある愛媛いいよかん」を運営し、県産品の紹介宣伝及び販路拡大に努めた。県内観光名所の紹介及び県産品PRを行うメールマガジンを配信した。
- ホームページの商品画像の改善に取り組んだ。

平成31年度（令和元年度）

売上額	23,458千円	前年実績	38,475千円
販売件数	4,773件	前年実績	7,531件

※（参考）前年度、被災地応援割クーポン事業を実施（9月～2月）

クーポン利用額3,522千円、利用件数 3,645件 売上額実績17,610千円

3 県産品の紹介・販路拡大事業

ひめぎんホールの改修に伴う休館の対策として武道館ほか県内外で開催される各種イベントに積極的に出展した。

（1）県内

- 全国商工会議所女性会連合会他 13カ所
※新型コロナ影響による開催中止 瀬戸内少年柔道大会（県武道館）

（2）県外

○HBCとれたて愛媛×北海道マルシェ他 6カ所

※新型コロナ影響による開催中止 広島みなとフェスタ（広島 宇品港）

4 おみやげプロジェクト

主要な県産品のひとつである「練り物」は全国的に消費が減少傾向にあるが、販売拡大を目指す県内事業者の支援を目的として、前年度は統一テーマを「愛媛ねりもの紀行」としてWEBや冊子作成により練り物の魅力を発信した。本年度は新たに「愛媛ねり女の会」を企画し、参加型プロモーションを実施することで認知度向上・販売促進・商品開発支援を図った。

5 県内企業の商品開発支援等

(1) 消費者ニーズ意見交換会の実施

県内企業の商品ブラッシュアップを目的として、消費者と企業商品開発担当者等が、味、量、設定価格、パッケージ等について意見交換する会を初めて実施。これにより、リニューアル商品の開発にもつながった。

(2) バイヤーとの情報交換会

作り手と買い手の出会いの場を設け、バイヤーが求める商品内容やトレンドについて講演を行った。（県内食品メーカー25社が参加）加えて個別懇談会を開催した結果、百貨店のセレクト商品や、WEBでの販路開拓につながった。

(3) 食の安全・安心に関する取組み

食品衛生法の改正に伴い対応が求められるHACCP（ハサップ）制度の内容や、食品衛生の基本を学ぶ講座を実施し、県内企業の安全・安心の取組みを推進した。

II 県外における紹介・宣伝及びあっ旋事業

1 「せとうち旬彩館」運営支援

前年10月のリニューアルオープンの効果もあり、せとうち旬彩館全体の売上は順調に伸びていたが、3月以降、新型コロナウイルスの影響による外出自粛や営業時間短縮により入り込みが落ち込んだ。通年では前年比13.3%の伸びであった。

令和元年度 物産販売状況（愛媛県分・香川県分総計）

売上額	363,945千円	前年実績 321,292千円
うち、愛媛県分	215,740千円	前年実績 184,537千円
来所者数	372,206人	前年実績 336,819人

2 大阪物産あっ旋所管理運営

大阪市や愛知県において「愛媛フェア」等24件を開催

令和元年度

売上額	18,370千円	前年実績 20,169千円
来所者数	33,188人	前年実績 38,668人

※事務所ビル外壁工事中の影響により来館者数が減少

3 百貨店イベント等物産展の開催

愛媛県フェア、四国物産展等 51件実施（うち、新規 26件）

新型コロナ影響による開催中止 3月：2件（前年売上実績：11,287千円）

Ⅲ 愛媛DMO事業

1 新たなエリアにおけるフェア開催

大丸京都店ほか、百貨店や量販店などにおいて、新たに県産品の販売を行う「愛媛フェア」を開催するとともに、県外での県産品販売イベントに参加し、県産品を通じた愛媛県の認知度向上、魅力発信に努め、愛媛県への誘客に努めた。

2 商品開発支援

観光での思い出や、みやげ話とともに持ち帰られる『おみやげ』は、愛媛県の魅力発信、誘客促進において大変重要なツールであることから、前年度に引き続き、愛媛県産品の魅力を統一テーマで紹介する企画を企業（エス・ピー・シー）と連携して進めた。

3 帳合機能を有した営業活動

百貨店やスーパー等において、これまでの関係を活かして、新たな販路となりうる店舗等を訪問し営業活動を行い、新たな取引に繋げた。

4 インターネット販売強化

県内観光名所の紹介や、県産品PRを行うメールマガジンを配信するなど、県産品のインターネット販売を強化することにより、県産品の認知度向上に努めた。

共通事業

I 会議開催

- ① 令和元年度第1回理事会(書面表決)
表決日 令和元年6月8日(土)
内 容 第1号議案
・平成30年度事業報告及び決算報告について
- ② 令和元年度第2回理事会
開催日 令和元年6月24日(月)
会 場 伊予鉄高島屋
出席者 理事・監事
内 容 第1号議案
・役員補欠選任について
その他
・平成30年度事業報告について
・平成30年度決算報告について
・会員の異動について
・令和元年度観光物産事業功労者及び観光物産優良従事者表彰について
・第3回四国おもてなし感激大賞2018優良表彰及び奨励賞表彰について
- ③ 令和元年度定時総会
開催日 令和元年6月24日(月)
会 場 伊予鉄高島屋
出席者 会員及び理事・監事
内 容 ・令和元年度観光物産事業功労者表彰及び観光物産事業優良従事者表彰
・第3回四国おもてなし感激大賞2018優良表彰及び奨励賞表彰
第1号議案 役員補欠選任について
第2号議案 平成30年度決算報告について
その他
・平成30年度事業報告について
・令和元年度事業計画について
・令和元年度収支予算について
・令和元年度借入限度額について
- ④ 令和元年度第3回理事会(書面表決)
表決日 令和2年3月27日(金)
内 容 1号議案 令和2年度事業計画(案)について

- 2号議案 令和2年度収支予算（案）について
- 3号議案 令和2年度定時総会の開催日について
- 4号議案 令和元年度決算の承認議決行為について